測量計算・電子野帳（TS）

A-SurveyAd

Android

エース プロジェクト

2019/09

Ver 3.3.0 にて追加された機能です。

・放射トラの逆幅表示で標高差の表示、訂正。
・APA ファイル一覧に点数を表示

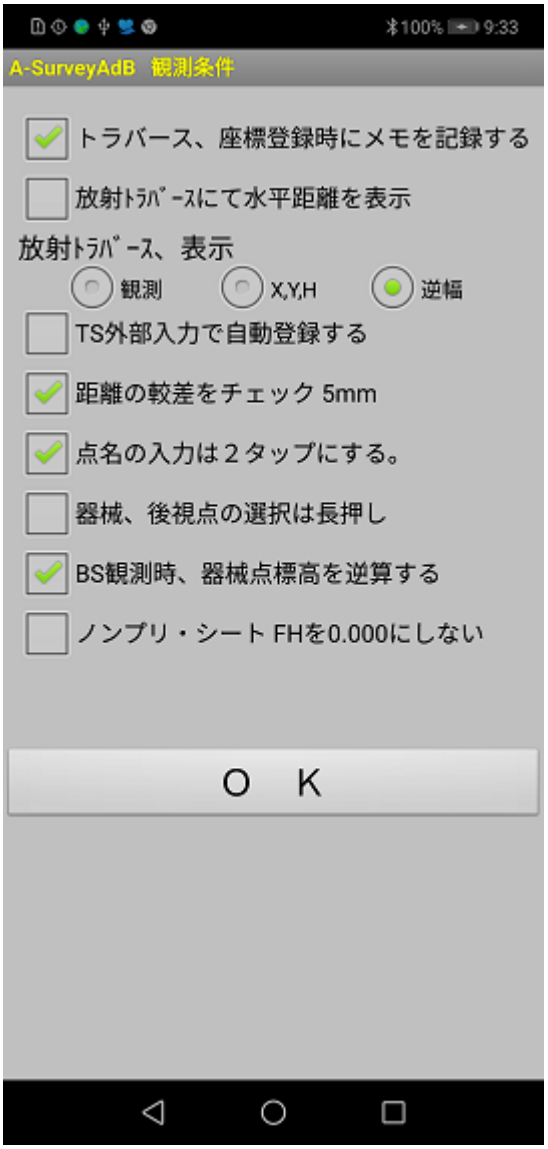
1、放射トラの逆幅表示で標高差の表示、訂正

前回、この機能を追加しましたが、仕様に間違いがありました。
測定標高と、センターの計画高を比較していました。
正しくは、測定位置の幅から、片勾配で計算した標高と比較です。
よって、「縦断曲線計算」と「片勾配入力」データがある場合に、表示できる機能です。

「放射トラバース」には、「逆幅」表示の機能があります。
測定結果から、逆幅計算を行いセンター、離れ、測定標高を表示します。

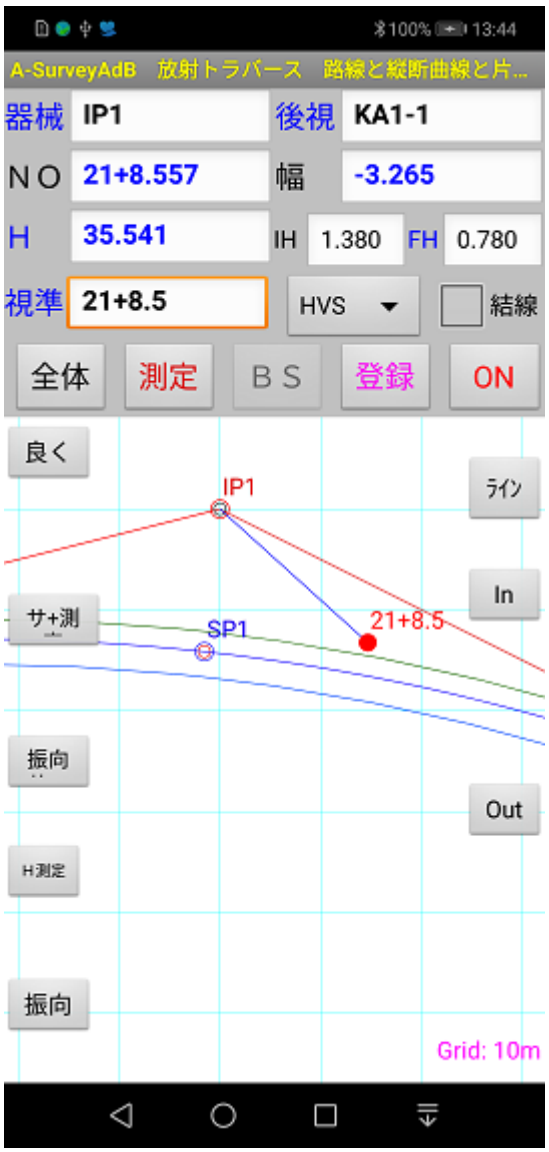
「縦断曲線計算」が追加され、センターの計画高が追加距離から計算できるようになりました。
そこで、Ｈの項目に計画高との差、計画高を表示する機能を追加しました。

Ｈ　：測定標高
△Ｈ：計画高―測定標高、「縦断曲線計算」と「片勾配入力」データがある場合。
ＰＨ：計画高、「縦断曲線計算」と「片勾配入力」データがある場合。

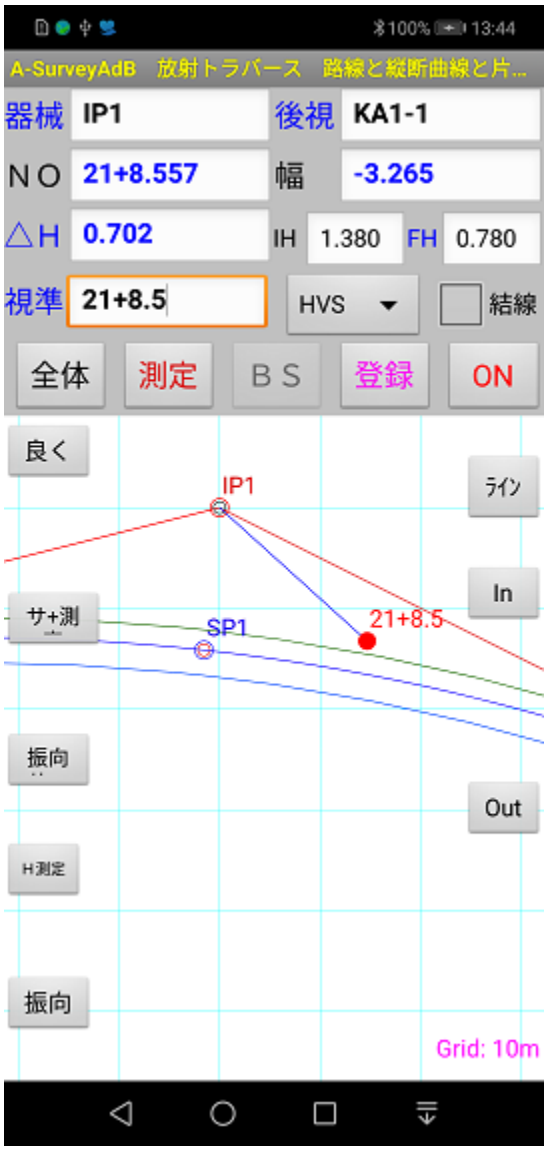


“H”をタップすると、△H→ＰＨ→Hと変わります。

Ｈ：測定標高



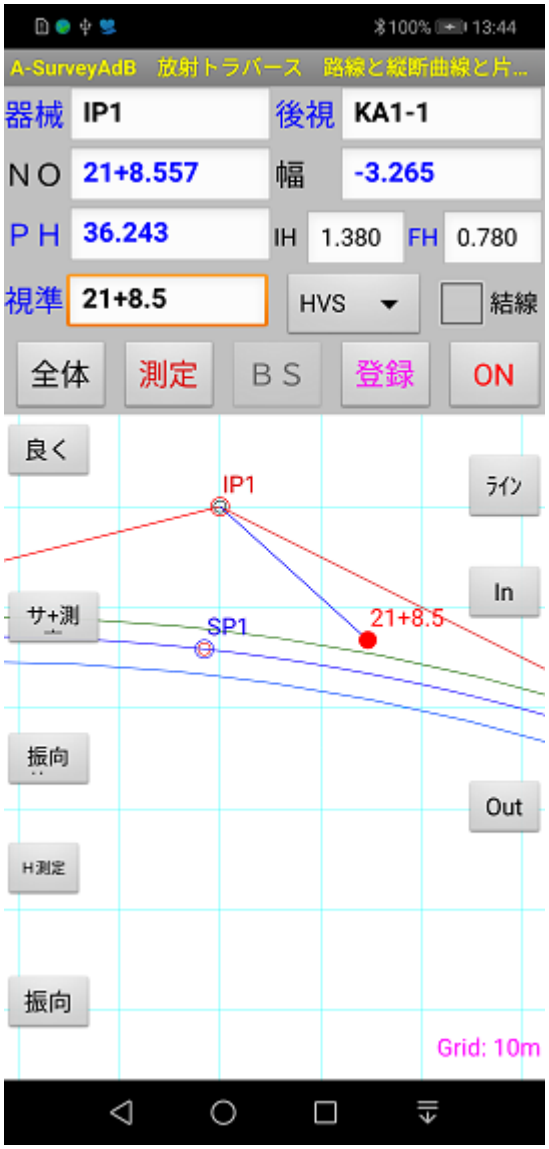
△Ｈ：計画高―測定標高

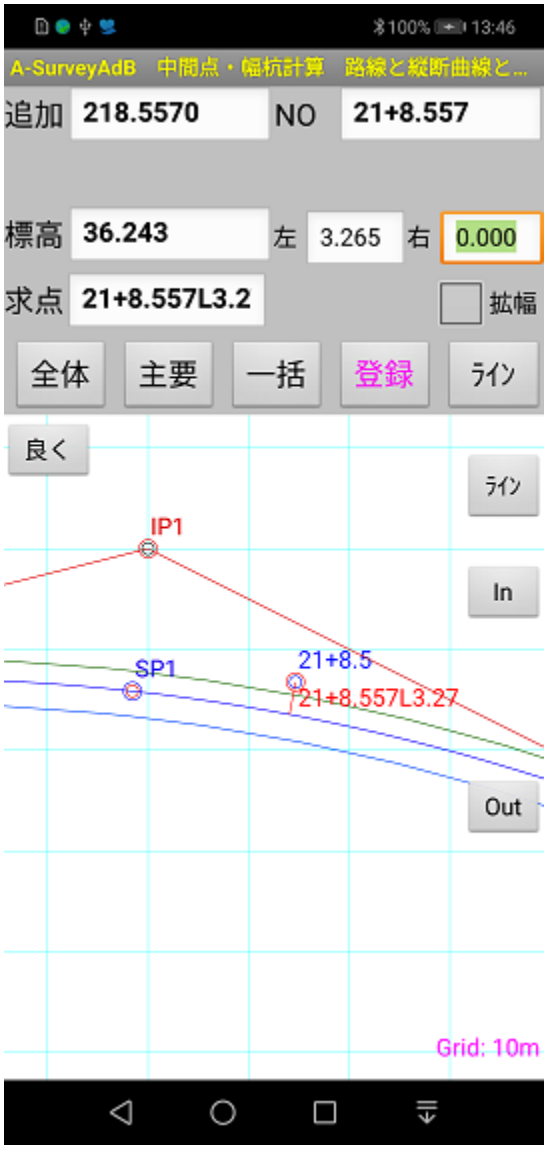


ＰＨ：計画高、「縦断曲線計算」と「片勾配入力」の入力データより。

△Ｈにしておけば、常に△Ｈを表示します。
Ｈや、ＰＨを見たいときに切り替えます。

ＰＨは、測定位置の幅から、片勾配で計算した標高。
「中間点・幅杭計算」で、追加距離と幅を入力して確認した画面です。



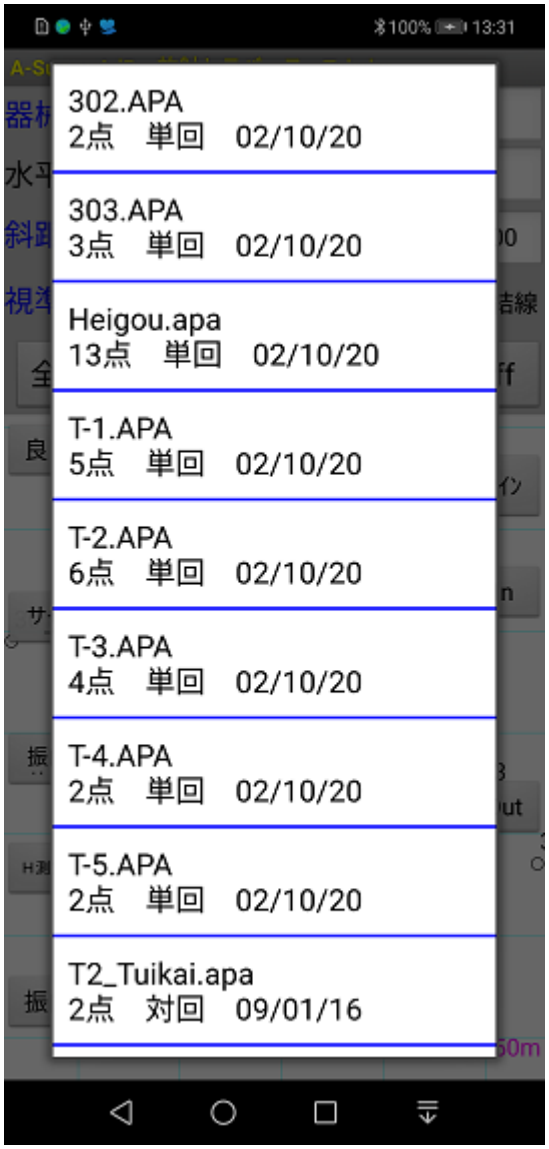


２、APA ファイル一覧に点数を表示

APA ファイルの一覧を表示して、選択する箇所が幾つかあります。

・観測手簿
・「野帳観測・入力」
・多角計算の各計算
・「対回観測」

これらの APA ファイルの一覧表示を変更しました。
点数、単回か対回か、観測日付を追加表示しました。



以前は、ファイル名のみでしたので、
判り易くなったと思います。